



●甲子園前に区長・議長を表敬訪問

7月31日、飯野周太主将ら選手一同が区役所を訪れ、青木克徳区長らに甲子園での活躍を誓いました。青木区長は、「区民みんなで応援していることを頭に入れて頑張ってください。」と激励しました。

●東京大会優勝で甲子園の切符
修徳高校は、7月27日に神宮球場で行われた東京大会決勝戦にノースードから勝ち上がり、二松学舎大付属高校との対戦で、両チーム計30安打19得点の乱打戦に打ち勝ち、13-6の大勝で9年ぶり5回目の夏の甲子園出場を決めました。

●区立中学校出身者3人がメンバー入り
部員97人のうち、葛飾区出身者も多いが、ベンチメンバーには、森田寛之輔（綾瀬中学校）、小林 滉（青葉中学校）、赤坂優斗（東金町中学校）の3選手が入って主軸を担っています。

第95回全国高校野球選手権記念大会
第68回国民体育大会（東京）
修徳高校 野球部
甲子園&東京国体で躍動！

森田選手のホームランで盛り上がる応援団！



《甲子園1回戦の結果》

初戦の相手は、大分商業高校（大分）で、3回に2点を先制されましたが、4回に1点を返し、6回、森田選手（綾瀬中出身）の2点逆転ホームランで勢いに乗り、持ち味の打線が長打力を発揮して勝利を収めました。

葛飾区からは、久野清福副区長・斉藤初夫区議会文教委員長らが応援に駆け付け、生徒たちと共に声援を送りました。

8月9日(金)<大会2日目:(1回戦)>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大分商	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
修徳	0	0	0	1	0	2	1	4	×	8

《甲子園2回戦の結果》

2回戦は、鳴門高校（徳島）と対戦。3回までに4点を先制されましたが、4回、森田選手（綾瀬中出身）の2塁打のチャンスから2点、5、6回、小林選手（青葉中出身）の適時打などで2点追加、7回に同点に迫りましたが、延長10回、両チーム23安打の乱打線の末、鳴門のサヨナラ勝ちで幕を閉じました。

区側からも、青木克徳区長らが球場に駆け付け観客席から声援を送りましたが残念な結果となりました。

8月15日(木)<大会8日目:(2回戦)>(延長10回)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
修徳	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	5
鳴門	0	2	2	1	0	0	0	0	0	1×	6



執念の10安打同点劇も、サヨナラで涙！



修徳は、20年ぶり2度目の優勝！



《第68回国民体育大会の結果》

第68回国民体育大会に東京都代表で出場した修徳高校は、夏の甲子園優勝の前橋育英（群馬）に勝利するなどして決勝戦までコマを進め、大阪桐蔭（大阪）に前半6点差の苦しい展開でしたが、7回にホームランなどで5点を挙げ、10対9と一時は逆転しましたが、9回に同点とされ、10対10の引き分けとなり、大会規定により両校優勝となりました。

10月3日(木)<八王子市民球場:(決勝戦)>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大阪桐蔭	4	0	0	2	0	3	0	0	1	10
修徳	0	0	0	0	5	0	5	0	0	10